

公益財団法人 山口育英奨学会

事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその実績

(単位:千円)

事業別	予算額	決算額	実施割合
育英奨学事業	75,448	67,541	89.51%
学術研究等助成事業	27,296	26,711	97.85%
資料館庭園運営管理事業	33,641	32,634	97.00%

(2) 直前3事業年度の財産および状況

(単位:千円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (当該事業年度)
経常収益	161,669	161,844	161,169	168,001
評価損益等調整前 当期経常増減額	△604	27,598	10,605	13,331
当期経常増減額	△570,896	542,270	△139,121	3,507
正味財産期末残高	3,680,963	4,318,135	4,153,095	4,172,170

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
①育英奨学事業	学生に対し奨学金の無利子貸与 学生集会を開催し学生の指導育成と相互交流
②学術研究等助成事業	大学等における学術の研究者に対して助成金を給付 自然環境保護活動を実施する団体に対しての助成金給付 当会の事業目的に合致する公益事業活動をする団体への助成
③資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営および一般公開 庭園・山林・遊歩道の整備と自然環境保全活動

(4) 従たる事務所の状況

名 称	所在地	事業内容
東京事務所	東京都 品川区大崎	首都圏の大学等への当会事業の周知 公益事業活動の助成対象団体の情報収集 金融情報収集

(5) 重要な契約に関する事項

契約年月日 (契約期間)	相手方	契約金額	契約の概要
平成 31 年 4 月 1 日 (5 年間)	EY 税理士法人	1 年間 1,320,000 円	定期提出書類の作成支援および 会計等に関する相談業務

(6) 事務局に関する事項

職名等	氏 名	就職年月日	担当事務
事務局長	原 久晴	昭和 61. 4. 7	事務局総轄
事業部長	荒井 能弘	平成 22. 9. 1	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	中沢 高則	令和 2. 11. 1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	渡部 夕子	平成 2. 4. 1	資料館管理
一般事務	山口 広美	平成 13. 2. 20	建物内管理・事務所庶務

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 4. 5. 30	令和 3 年度事業報告・計算書類等承認について	可決
〃	定款の一部変更について(役員等の定数変更)	可決
〃	第 11 回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	令和 4 年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	令和 4 年度学術研究助成について	可決
〃	令和 4 年度自然環境保護活動助成について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承
令和 5. 3. 29	令和 4 年度学術研究助成事業(その他助成)について	可決
〃	令和 5 年度事業計画の承認について	可決
〃	令和 5 年度予算の承認について	可決
〃	寄附の受け入れについて	可決
〃	「車両運搬具購入積立資金規程(乗用車)」について	可決
〃	評議員選定委員会に提出する評議員 2 名の選定について	可決
〃	評議員選定委員選任について	可決
〃	選考委員 1 名退任による 1 名選任について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 4. 6. 29	令和 3 年度事業報告の内容報告について	了承
〃	令和 3 年度の計算書類の承認について	可決
〃	定款の一部変更について(役員等の定数変更)	可決

(8) 株式の保有状況

企業名	保有株式数	保有割合	企業との関係
ENEOS ホールディングス(株)	3,920,000 株	0.129%	取引なし
北越メタル(株)	55,600 株	1.392%	取引なし
住友商事(株)	30,000 株	0.002%	取引なし

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他の法人等の代表状況等
理事長	山口敬太郎	2年	常勤	規程による	程ヶ谷基金理事
常務理事	原久晴	2年	〃	〃	
理事	森地茂	2年	非常勤	〃	日本ナショナルトラスト評議員
〃	若杉敬明	2年	〃	〃	日本コーポレートガバナンス理事
〃	一色誠一	2年	〃	〃	芙蓉総合リース(株)取締役
〃	田波耕治	2年	〃	〃	日本法制学会理事

(2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他の法人等の代表状況等
監事	高橋實	2年	非常勤	規程による	MTNサポート理事
〃	西尾進路	2年	〃	〃	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他の法人等の代表状況等
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	古瀬裕	4年	〃	〃	
〃	福壽道夫	4年	〃	〃	
〃	大田勝幸	4年	〃	〃	ENEOSホールディングス会長
〃	山崎正	4年	〃	〃	
〃	高橋讓	4年	〃	〃	長岡市勤労者福祉センター理事長
〃	青柳隆広	4年	〃	〃	

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	6名	20,745千円	
監事	2	223	
評議員	7	178	
合計	15	21,146	

事業報告の附属明細書

I 事業に関する記載事項

1 育英奨学事業について

(1) 奨学金貸与者数および貸与額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計(名)	奨学金貸与額 (千円)	奨学金返還免除額 (千円)
大学院生	6	5	11	6,000	1,350
大学生	67	25	92	53,400	11,350
短大生	0	0	0	0	0
高専生	0	0	0	0	0
留学生	13	3	16	7,100	1,050
合 計	86	33	119	66,500	13,750

(2) 奨学金返還者数および返還額

区 分	貸与奨学金返還者 (名)	返還額 (千円)
大学院生	31	3,917
大学生	143	38,248
短大生	3	345
高専生	2	288
高校生	3	420
留学生	32	6,317
合 計	214	49,535

(3) 学生集会

奨学生の研修指導育成を図るため 3年ぶりで学生集会を 8月24日～25日(1泊2日)に開催した。来賓による講演会と講話、自然環境保全活動の理解を目的とした山林保全作業と小国和紙を使った「灯り」作りなどを行った。参加者は54名であった。なお、集会に参加した奨学生には2か月分の返還免除を行い、コロナ感染状況を勘案して参加を見合わせた者のうち、作文を提出した者にも参加者と同様に2か月分の返還免除を行った。これにより返還免除対象者は76名であった。

実施内容

1 日目 24 日 (水)	13:30 集合 開会 理事長挨拶、役員紹介、学生自己紹介
	講演会 演題 「日本の経済・財政過去・現在・将来」 田波 耕治 氏 (当会理事 : 元 大蔵事務次官)
	講話 「企業の人事担当者から見た就職活動について」 高尾 育郎 氏 (ENEOS株式会社 人事部)
	奨学生の懇談会
2 日目 25 日 (木)	山林保全作業 (植林地の下草刈り、間伐、薪割作業の体験)
	ワークショップ 「小国和紙の灯りづくり」
	郷土資料館・庭園の見学
	16:30 閉会 JR 長岡駅へ移動、解散

(4) その他

機関誌「山びこ」55号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

2 学術研究等助成事業について

(1) 学術研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 15,970,000 円の助成金を交付した。

- ① 群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門 助教 覚知 亮平
研究題目 共存分子に影響されないユニバーサル感温性ポリマーの機械学習による分子設計
- ② 長岡技術科学大学 電気電子情報系 助教 金井 綾香
研究題目 環境調和型次世代吸収層材料を用いた太陽電池の構造最適化による高効率化
- ③ 長岡技術科学大学 准教授 西村 泰介
研究題目 病原菌抵抗性エピジェネティック変異体を用いた植物の記憶のメカニズムの解明

- ④ 新潟大学 医歯学総合研究科 助教 吉岡 望
研究題目 Dystonin-b 遺伝子変異に起因する筋変性における分子病態機序の解明
- ⑤ 山形大学 大学院理工学研究科 助教 吉田 一也
研究題目 単純細胞モデルにおける二種類の相分離現象のカップリング
- ⑥ 長岡工業高等専門学校 一般教育科 助教 中山 雅友美
研究題目 全市町村のビッグデータ統計分析の可視化からみる、子育て支援がもたらす少子化対策効果の検証
- ⑦ 長岡工業高等専門学校 物質工学科 助教 熱海 良輔
研究題目 TiO_2 光触媒による難分解性有機化合物処理速度の予測を目的とした機械学習モデルの開発
- ⑧ 新潟大学 工学部 教授 山内 健
研究題目 資源循環型ペーパーエレクトロニクスを支える折り紙電子デバイスの開発
- ⑨ 新潟大学 大学院自然科学研究科 准教授 山家 清之
研究題目 大気圧非熱平衡プラズマと金属導体の相互作用を利用した静電誘導現象の解明に関する研究
- ⑩ 新潟大学 工学部 准教授 佐々木 進
研究題目 量子計測技術が拓く革新的MRI
- ⑪ 信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 助教 田原 祐助
研究題目 メルトブロー不織布を用いた SERS プラズモニクセンサ基盤の開発
- ⑫ 秋田大学 大学院理工学研究科 准教授 松村 洋寿
研究題目 大気汚染物質硫化カルボニルの新規分解除去法の開発を指向した酵素内包タンパク質ナノカプセルを利用する気液反応系の創成
- ⑬ 東京工業大学 工学院 システム制御系 助教 倉元 昭季
研究題目 椅子の快適性を決定する座面の適切な不安定さに関する研究—長時間座位時の疲労の生体力学的評価

- ⑭ 東京大学 医科学研究所 助教 石坂 彩
研究題目 腸内細菌叢の破綻を介した HIV 持続感染の慢性炎症の維持機構の解明

- ⑮ 東京大学 大学院理学系研究科附属植物園 助教 樋口 裕美子
研究題目 イヌヤマハッカ変種群から明らかにする切れ込み葉によるムツモンオトシブミの踏査阻害機構

- ⑯ 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授 大森 良弘
研究題目 元素マッピング情報を利用した非破壊元素動態モニタリング技術の開発

- ⑰ 富山大学 学術研究部工学系 准教授 迫野 昌文
研究題目 医療と食の安全を支える高正確ゲノム編集法の開発

- ⑱ 東北大学 大学院環境科学研究科 教授 岡本 敦
研究題目 Fe(II)の状態解析に基づく海洋プレートの水素エネルギー生成分布の推定

- ⑲ 東北大学 大学院工学研究科 ロボティクス専攻 助教 山田 駿介
研究題目 原子層物質 MXene を含んだイオンゲルの合成とその電気化学キャパシタの作製と評価

- ⑳ 東京大学 情報学環・情報学府 教授 遠藤 基郎
研究題目 中世日本古文書の俯瞰的観察実現のための研究－東京大学史料編纂所「日本古文書ユニオンカタログデータベース」をプラットフォームに

(2) 自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、総額 5,106,492 円の助成金を交付した。

- ① 小千谷市の棚田を楽しむ会
活動名 新たな棚田の田圃、また周辺自然水棲生物の維持をスムーズに行うため

- ② 越路まちづくり協議会
活動名 岩田の里山再生と里山あそび

- ③ 森林インストラクターと市民有志
活動名 市民による「瞑想の池」環境整備仕上げ作業
- ④ 特定非営利活動法人 新潟の科学・自然探偵団
活動名 わたしの学校にもサイエンス・サーカスがやってきた
(中山間地の小規模校や離島の子ども達、及び障がい者や高齢者を対象とした出前型環境教育・科学技術理解促進活動)
- ⑤ 千谷沢集落 千谷沢集落活性化委員会 西国三十三番霊場の環境整備部会
活動名 西国三十三番霊場を中心とした里山生活の調和
- ⑥ 長岡野鳥の会
活動名 双眼鏡やフィールドスコープを持っていない人でも参加できる野鳥観察体験事業の推進
- ⑦ 法末振興組合
活動名 火打池の整備
- ⑧ えちごせきかわ四季の暮らし協議会
活動名 自然と共生し循環する暮らしプロジェクト
- ⑨ ECO village SHELTER project
活動名 年間を通じた里山整備活動と森の中のエコビレッジづくり～里山再生モデル・キックリータウンぐるりの森と地域内循環
- ⑩ 長岡工業高等専門学校
活動名 未利用資源を生かした自然保護～長岡モデルの社会実装への試み～
- ⑪ 自然栽培新潟研究会
活動名 里山と食卓をつなげる食育プロジェクト
- ⑫ 長岡市立小国小学校
活動名 あおぞらのSDGs～小国のためにできること～

⑬ あじさい塾

活動名 里山再生事業

(3) その他助成

学術研究等助成事業の「その他助成」として総額 4,212,000 円の助成金を交付した。

① 公益社団法人日本女子プロ将棋協会

② 公益財団法人日本ユースリーダー協会

③ 公益財団法人日本ナショナルトラスト

④ 学校法人国際大学 (IUJ)

⑤ チーム・小国

⑥ ながおか技術教育支援機構

(4) 学術研究助成報告会の開催

9月に「学術研究助成報告会」を開催し、令和3年度に助成金を交付した研究者20名のうち参加を依頼した3名が、研究の経過や成果について報告を行った。

(5) 自然環境保護活動報告会の開催

10月に「自然環境保護活動報告会」を開催し、令和3年度に助成金を交付した11団体のうち5団体が参加して、活動の成果について報告を行った。

3 資料館庭園運営管理事業について

- (1) 当会の資料館および庭園・山林と遊歩道を4月下旬から11月下旬まで一般公開し見学者を受け入れた。ガイド2名を交替で配置し案内や解説を行って見学者の便に供している。見学者は年間1,370名であった。
- (2) 当会所有の庭園および山林の遊歩道を散策しながら、植物、野鳥、きのこなどを観察する会を春秋4回開催した。植物に関する専門家、長岡野鳥の会、長岡きのこ同好会の協力を得て実施し合計94名の参加者があった。
- (3) 庭園内の景観を整備するため、立木や雑木の伐採を行った。
- (4) 地域貢献活動として「山びこ館」で演奏家2組を招いて音楽会を開催した。約50名の来場者が、バイオリンやジャズの演奏を楽しんだ。